

地域おこし協力隊



矢頭山のお祭りに参加しました



道志手帖コラボ企画を進めています



4月19日、長又集落の矢頭山（やのうさん）のお祭りに参加させて頂きました。

昨年から数回に分けて整備された山の道を掃除しながら上り、石の祠に着くと周りのツツジがちょうど見ごろでした。この石の祠は部品ごとに男衆が急な山道を担ぎ上げ組み立てたといえます。男衆全員でお参りした後は、集落内のお宮に集まり、自主防災組織の役割分担の再確認と防災倉庫の物品の確認が行われました。その後は地域の女性、子供達も集まって楽しいバーベキューとなりました。長又の方々の結束の強さと懐の深さを感じました。

（千々輪岳史）

『道志手帖』連載の「絵地図」

「道志手帖」を見た方から「じつさいに歩いてみたくなった」という声を頂くことがあります。しかし村外から訪れて気軽に歩くには、歩いて楽しいコースの選定や駐車場の確保などの課題があります。そうした点をクリアして気軽に道志を歩けるツールとして、これまでの『道志手帖』の蓄積を元に、コースづくりや歩く際のガイドブックを作成したいと考えています。

また、『道志手帖』次々号では都留文科大学の学生と共同で「道志と都留」について特集する予定です。取材で村内の商店などにお邪魔させて頂きますので、ご協力をよろしくお願致します。

（香西恵）

道志産わさびを育てています！



昔

村内ではあちこちでわさびがつかられていたと聞きます。沢沿いにはかつて使われていた大小のわさび田が、今は苔むして自然に還っているように見られます。「道志は水がいいからいいわさびができた」。わさびはクレソンと同じく、道志の水の良さを象徴するような作物だと思います。

今年からしばらく使われていなかったわさび田をお借りし、地域の方に教わりながら試験的にわさびの栽培を始めました！ 野菜づくりとはまた違ったおもしろさがあり、驚きと発見の連続です。高級だと思っていた本わさびを育てることができ、今から収穫が楽しみです。

道志のき

れいな水とわさび。素敵な資源がこの村にはありません。

（中寫拓哉）



桜

が咲き、木々の新緑が顔を出し始めた5月。道志村の新緑はとても魅力的だとお客様に言われることが多いです。



さて、今年も畑の準備が始まり、夏野菜の苗づくりも行っています。昨年植えたニンニクが立派に育ち、もう少しするとニンニクの芽がとれるころになります。収穫が楽しみです。ニンニクはオリブオイルに漬けておくとパスタなどの料理で重宝します。また道志村で育ったニンニクは、寒暖差がある気候で育っただけあって、とても美味しいです。

（井口陽介）

先日

、長野県王滝村の地域おこし協力隊の方々に招かれ、間伐材のエネルギー利用について話をしました。王滝村も5人の協力隊が活動していますが、みんな個性的で面白い会話から、王滝村に対する愛をずっしり感じました。好きなことについて語る人の姿は魅力的だと改めて感じました。

（大野航輔）

